

福島県「大学生の力を活用した集落復興支援事業」

柳橋まちづくり事業報告書



平成27年3月20日

作新学院大学まちづくり研究会



福島県郡山市中田町柳橋

人口約800人

高齢化と人口減少が進む

交通の要衝であり、石材産地として栄えた時代の面影を残すまちである

農村歌舞伎、神楽、文楽など4つの無形文化財を持つ伝統芸能の里

柳橋集落中心部



▶ 調査の日程（平成26年8月4日～11月14日）

- ▶ 8月 4日 午後：現地入り 地域の方々と打合せ（調査方針の確認、日程調整）
集落全体を視察
- ▶ 8月24日 午前：地域の伝統芸能 歌舞伎舞台設営の手伝い
- ▶ 午後：第1回ワークショップ（まちづくりの考え方）
- ▶ 8月31日 午前：歌舞伎舞台設営の手伝い（仕上げ）
- ▶ 午後：第2回ワークショップ（地域の課題とまちづくりの資源）
- ▶ 9月 8日 第3回ワークショップ（まちづくり事業提案） 民泊
- ▶ 9月 9日 周辺地域視察
- ▶ 9月14日 午後：歌舞伎公演 本番 見学 民泊
- ▶ 9月15日 午前：歌舞伎舞台 片付け手伝い
- ▶ 11月 1日 第4回ワークショップ（事業案の絞り込み）
- ▶ 11月14日 調査結果の現地報告会 今後の方針と予定確認



8月4日 事前打ち合わせ 午後：現地入り・地域の方々と打合せ
(調査方針の確認、日程調整) 集落全体を視察



8月24日 午前：
地域の伝統芸能 歌舞伎舞台設営の手伝い



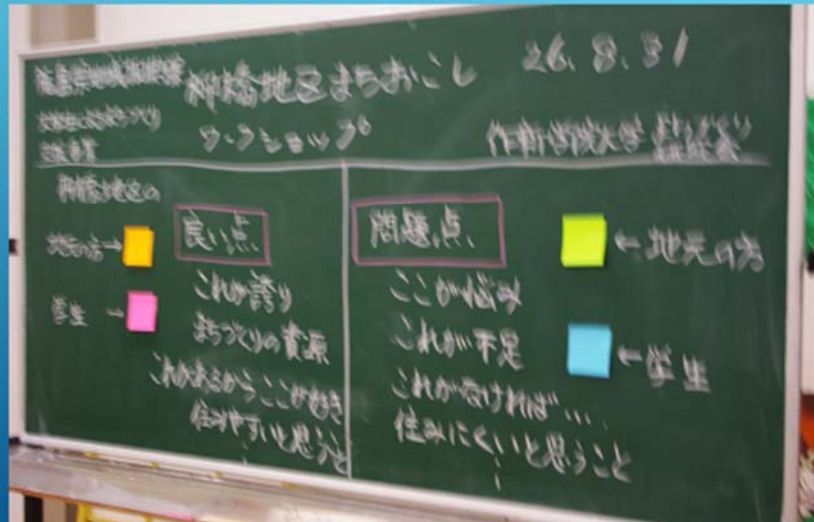
8月24日 午後：第1回ワークショップ
(まちづくりの考え方に関する橋立先生のミニ講演)



8月31日 午前：
歌舞伎舞台設営の手伝い（仕上げ）



8月31日 午後：第2回ワークショップ
(地域の課題とまちづくりの資源)



柳橋集落の誇る資源

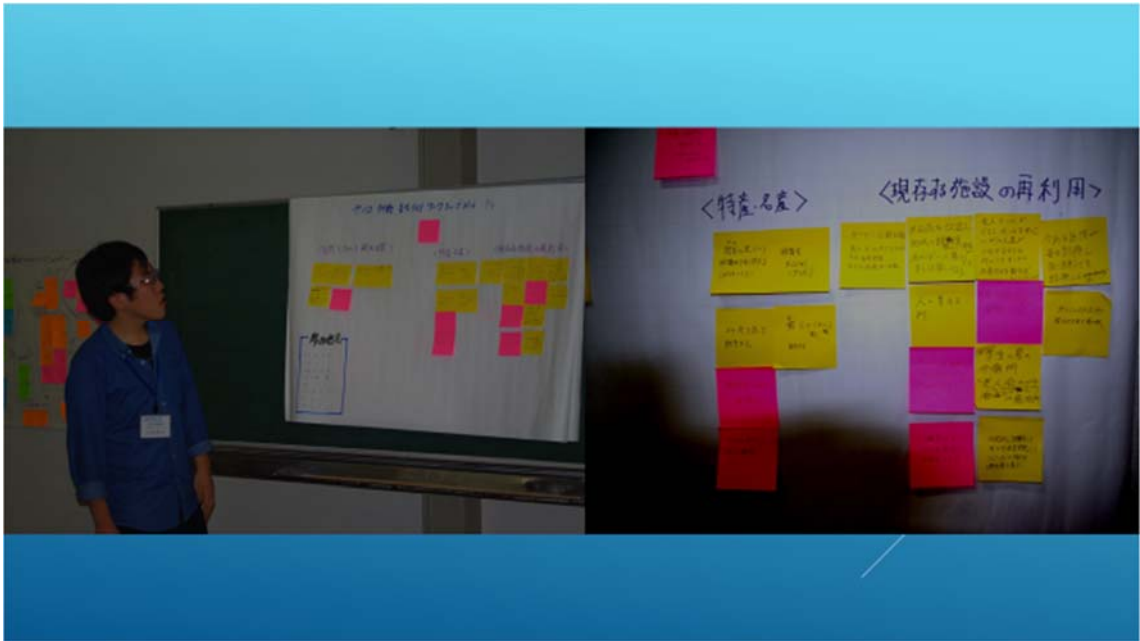
- ▶ **自然**（集落を取り巻く鞍掛山を始めとする山々、水、桜、田園風景など）、
- ▶ **伝統芸能**（柳橋歌舞伎を始めとする4つの無形文化財）、
- ▶ **人柄の良さ**（温かい人情と人のつながり）
- ▶ 困り者の休耕地を積極的に活用できる資源と考えようという積極的な意見も出された。

柳橋の問題点

- ▶ **高齢過疎化の進行**（後継者難、少子化）
- ▶ **生活不便**（買い物、交通、医療）
- ▶ **産業の衰退**
- ▶ 学生からは、「自然、伝統文化、素晴らしい人柄の3つの資源があってとても良いところだが、仕事がなく遊びもなく退屈で、このままでは暮らせそうもない」という意見が出された。

9月8日 第3回ワークショップ (まちづくり事業提案)





民泊をさせていただき
美味しいご飯を頂きました。

9月9日 集落内視察



9月14日 午後：歌舞伎公演 本番 見学





歌舞伎公演終了後のなおらい（打ち上げ）



9月15日 歌舞伎会場の片づけの後、 会長さんのお宅で「じゅうねんうどん」をいただく



第3回ワークショップ結果を大学に持ち帰り
整理して第4回ワークショップに備えた



1月1日 第4回ワークショップ
事業案の絞り込み



第3回ワークショップで出された事業案は、 4つの分野にまとめられた

事業分野1 自然を活かす

	住民の意見			地域外（学生）からの意見		
	すぐにできること	時間がかかること	長期的な事業	すぐにできること	時間がかかること	長期的な事業
山	くらかけ山の登山・ウォーキングを年中登れるように！ 地元の山歩き。イベント的に大きくしないで回数を増やす	他の地域の小学校から、どんどん黒石山やくらかけ山に遠足に来て景色を見て感動してもらいたい。 春、夏、秋と年3回は登れるようにする。	山ガールを呼び込む		自然を生かした観光ツアー ご来光や風景を見るためのハイキング	
休耕地	休耕地の活用	休耕地や店を出すための場所の提供を呼び掛ける。		休耕地をつかって子供たちに農業体験ができるようにする	貸農園や果樹オーナー制	
桜	花見のころにイベント、伝統文化の公演を開催する	観光地を作る（桜の名所など）				
体験				子供自然塾、お年寄りが自然との付き合い方、マナー、楽しみ方を教える	「いなか」の生活体験を実施する。休日に自然を感じ、リラックスした人を招く、人柄がよい地域を感じさせる	

事業分野2 産業を興す

	住民の意見			地域外（学生）からの意見		
	すぐにできること	時間がかかること	長期的な事業	すぐにできること	時間がかかること	長期的な事業
総合		特産品を活用し、憩いの場をつくる 小さな直売所をつくり、月1~2回、高齢者の作った野菜を販売する				農産物直売所 空いている土地を使って柳橋の紹介や、地元のものを使った料理を出す道の駅のような店をつくる
山菜等	ふきを採り収入を得る 蕨茸を販売する	山菜を利用した名産をつくる 山菜専門の加工所をつくり、山菜を売る	野花の種を採集して畑で育て、花や、ホテル、レストランなどに提供する		『野花屋』山の花で花束をつくり販売する	
農産物	小豆をつくってお菓子屋さんに売る	そばの特産品にする休耕田を利用し「枝豆の里」づくり	柳橋ブランドの野菜を見つける		町内会で休耕田を借りて換金作物をつくる	
料理	イベントがあるたびに惣菜などを販売する	猪肉を使った料理を作り販売する 地粉でうどんを作ったて売る 歌舞伎種頭（ずんだ） 竹炭を作ったて販売	地元食材を使った四季の料理コンテストをして、販売に結び付ける	地元の食材を使った料理のワークショップ	じゅうねん汁のうどんを名物にする	お母さんの味の農村レストラン（おいしい水を活かす）
他						おいしい水の販売

事業分野3 施設づくり

	住民の意見			地域外（学生）からの意見		
	すぐにできること	時間がかかること	長期的な事業	すぐにできること	時間がかかること	長期的な事業
憩いの場	竹を使って滑り台やブランコなどの遊具をつくる	時間がかること 人の集まるところ（集会所） 子供と話したり、遊んだりできる場をつくる 黒石荘を改装し地域の談話室に ガーデン公園 花や樹の見える展望台	老人ホームができ、ホームを中心に町の人たちがつながるような町にして、そこからお金が動けばいい		空を整備して憩いの場を建設	道の駅 複合施設の建設
宿泊所		学生の合宿所 老人会の宿泊所	ガソリンスタンド付の宿泊できる道の駅			合宿所
医療		毎日受診できる診療所	大きな病院			
その他	竹トンボや水鉄砲を作って遊ぶ体験教室 他地域を見学するバスツアー	各地区にスポーツ広場をつくる 高齢者が使える広いグラウンド	交通活性化 休耕地を利用してソーラー発電		買い物に出かけるための送迎タクシー（無料かワンコインで）	カフェ コンビニ

事業分野4 伝統文化・ソフト事業

	住民の意見			地域外(学生)からの意見		
	すぐに見えること	時間がかかること	長期的な事業	すぐに見えること	時間がかかること	長期的な事業
伝統芸能	花見のころに伝統文化の公演を開催する	伝統文化を年4回開催する 歌舞伎グッズを創る		歌舞伎を年2回開催する	伝統芸能を伝えるツアーを開催	
イベント	花見のころにイベント、を開催する	2か月に一度、「柳橋の日」をつくり、会員制でイベントをする 観光地を作る(桜の名所など)		小さなイベントを増やす(低コストで負担にならないもの)		
PR				柳地の良いところをアピールする機会をつくる	町外から「柳地応援団(サポーターズ)」を呼び込む	
				ホームページの開設(イベント日程や桜の開花情報など)	テレビの力を借りる(小さな旅や婚活番組など)	
子育て		保育所で、もっといっぱい子供を預かって人を増やす		柳地子供塾を開いて子供をしつける	待機児童なしをPRするとともにファミリーサポートを充実させて、子育て世代を呼び込む	子育て世代優遇市営住宅の建設
高齢者	老人会に60歳から入ることにして、人数を増やしたい				高齢者が活躍できる場所、機会をつくって、まちづくりに活躍してもらう	



ワークショップ
終了ご挨拶

宗像町内会長様



ワークショップ
終了ご挨拶

宗像町内会長様

第4回ワークショップで出された事業案を、 軸に私たちは4つの事業提案にまとめた

- * 住民が地区の自然を楽しみ、それを外の人と分かち合える地区に 「山がある事業」
- * 地域の産業おこしは休耕地の活用から道の駅・農村レストランの夢実現へ「旬菜の里事業」
- * 高齢者の知恵と技を活かして生きがい創出を「『じ・ば産業』興し」
- * 柳橋の良さを外に向かってPRする「柳橋応援団事業」

事業提案 1

＊住民が地区の自然を楽しみ、それを外の人と分かち合える地区に 「山がある事業」

- ▶ 黒石山のある環境を地元の方々がもっと楽しむために、定期的にハイキングを行い、春の新緑と桜、夏の自然観察、秋の紅葉、冬のご来光など、四季折々の自然を味わう。そしてその楽しみを外の人と分かち合うような小学校の遠足や観光ツアーを呼び込み、将来は「山ガール」達が集まる場所にする。

事業提案 2

＊地域の産業おこしは休耕地の活用から道の駅・農村レストランの夢実現へ
「旬菜の里事業」

- ▶ 増大する休耕地を活用して、枝豆、小豆、そば、野花などを栽培し、特産品を育てる。まずは土地の提供を呼び掛けて小さな直売所を設け、高齢者が作った野菜などを販売してみる。また、地元の食材を用いた四季の料理コンテストを行い、さらにおもてなし料理を開発するために専門家に学ぶ『料理のワークショップ』を開く。そして将来的には道の駅やお母さんの味の農村レストランにまで発展させたい。

事業提案 3

* 高齢者の知恵と技を活かして生きがい創出を
「『じ・ば産業』興し」

- ▶ 老人会の入会年齢制限を下げて人を増やし、企画力を高めて活動を活性化させたい。
- ▶ 将来的には、子供塾や自然塾、子育て支援、農産物の生産・加工・販売など、高齢者の知恵と技を活かし、生きがいにつながる「じ・ば産業」興しにつなげたい。

事業提案 4

* 柳橋の良さを外に向かってPRする
「柳橋応援団事業」

- ▶ ホームページを開設したり、テレビの力を借りるなど、柳橋の良さを、もっと外に向かってPRする。
- ▶ ホームページでは、伝統芸能の公演予定、花の満開予想、旬の食べ物、鞍掛山の四季などを常時見られるようにする。
- ▶ 熱心なフォロアーに柳橋応援団になってもらう。

以上が、私たちの事業提案です。

将来の夢に向かって、今すぐにできることから、
初めの一步を踏み出してください。

次年度は事業試行の年です。
引き続きよろしくお願い申し上げます。

